

とやまエネの会 会報 vol.31 2020 年度活動報告

■【ZOOM開催】スマホ、パソコンなどで参加する

エネとも ぱちカルチャーオンライン学習会 12月20日開催

【第一部】バランスのとれたエネルギーミックスを目指していくためには

講師：(株)ユニバーサルエネルギー研究所 代表取締役 金田武司氏

<内容>ぜひ、お読みください

新型コロナウイルス感染症対策でのマスク着用で、一時マスクが手に入らなくなる状況があった。国産マスクは2割といわれているが、材料はすべて海外から輸入し、輸入した材料を日本でつなぎ合わせている。国産より「自給」できることが重要だ。

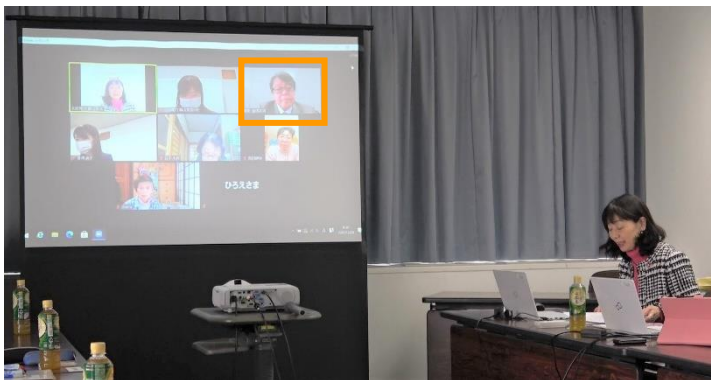
ペリー来航の江戸時代から、明治、大正になり、エネルギーが変化し時代を変えた。昭和になり、日本は海外から石油を輸入する時代になって、エネルギーのほとんどを石油に頼った結果、2度にわたるオイルショックが起こった。この経験から日本は自給自足の必要性に気が付いた。

日本は、自国で最低限のエネルギーを供給するため、「新エネ」「省エネ」「原子力」に取り組んだ。新エネは自給のため、省エネは中東から買った石油を大事に使うこと、原子力は石油の代わり、ということ。

日本は、他の国と電線が繋がっていないことや自給自足できないことなど、特殊な国。

日本は新エネに取り組んでいるが、自給ではない。太陽光も風力も部材はすべて輸入であり、その費用は国民が負担している。新エネを批判するのではなく、日本の産業やメーカーはそれで潤っているのか、日本単独で作れるのか、を議論する必要があるのではないか？

日本の歴史が教えてくれたことは「自給・自立の重要性」である。



学習会の様子

政岡会長挨拶 ※金田講師は東京から参加

【第二部】朝晩のおうち時間を癒しに変える色の魔法

～一日をワクワク過ごすための視覚的な色の選び方～

講師:color therapy studio JEWEL COLORS 浜野珠愛さん

<内容>

- ・人の印象は、「話の内容7% 声の大きさやトーン 38% 見た目 55%」
人は見た目でも、形よりも「色」に着目し、記憶に残すと言われるため、色は人に与える印象を変えることができる。また、野菜や果物などの自然の色は、栄養素と深い関係がある。
- ・惹かれる色は、自身の心と身体のバランスをとるための必要なエネルギー
例えば、赤色は情熱、オレンジは人間関係、緑はゆとり、ピンクは愛
- ・朝や昼間の色の呼吸法について

WEB配信講座 9月～2021年3月配信

環境とエネルギーについてのワンポイントレッスン♪

とやまエネの会のホームページを活用して、会員限定の環境エネルギー講座を配信

- ・第1回 エネルギー自給率とは？
- ・第2回 地球温暖化について考えてみよう
- ・第3回 再生可能エネルギーの長所と課題
- ・第4回 日本のエネルギー政策のいまとこれから

①スマートフォンやタブレットで視聴される方

QRコードを読み取ってください➡



②パソコンで視聴される方

インターネット画面のアドレスバーにURLを入力してください

<URL> <http://www.toyama-enokai.jp/ol/> オーエル

03 太陽光・風力発電の活躍とお天気屋さんな一面とは？

とやまエネの会のホームページ

電気に使われるエネルギーのバランス

電気はたくさんの量を貯めることができない

電気使用量と発電量が異なる標準周波数からずれる

使う分だけ電気を作り、光と同じ速さで送っている

電気使用量 > 発電量 → 周波数低下

電気使用量 < 発電量 → 周波数上昇

電気使用量と発電量のバランスが大幅にくずれると発電機が自動的に停止（電力系統全体の停電リスク）

出典 再生エネルギー100年わたしたちの暮らしとエネルギー

第3回 再生可能エネルギーの長所と課題

以上